

みんなで確認しよう避難先 原子力防災

広域避難のしおり

焼津市

はじめに

焼津市では、中部電力(株)浜岡原子力発電所における原子力災害にそなえるため、避難の判断基準や避難方法、避難先などを定めた「原子力災害広域避難計画」をつくりました。

このしおりは、万が一原子力災害が起きた場合に、どのような指示がだされ、どのように行動すればよいかをまとめた資料です。

原子力災害に備えるための基礎知識

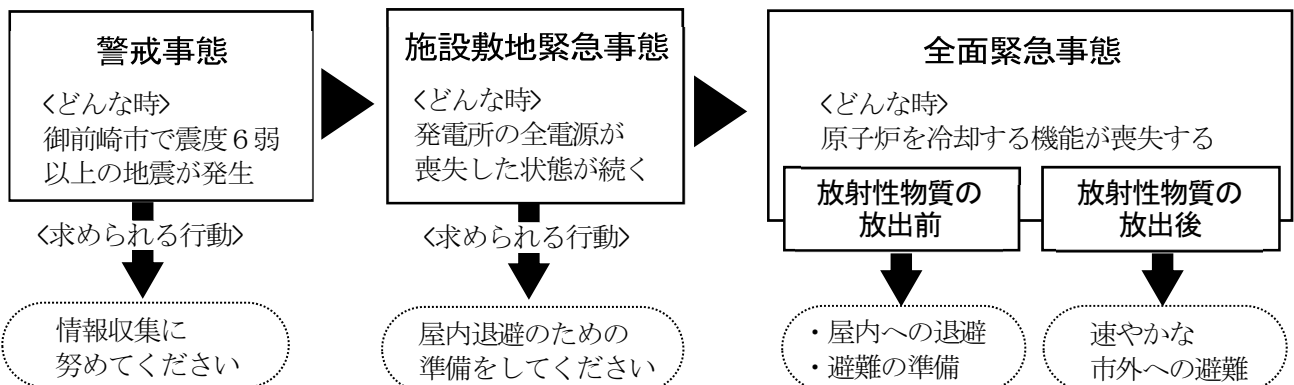
① 市内全域が避難などの対象範囲

原子力災害対策では、発電所からの距離が概ね 31 km 圏内の地域に対して重点的な対策がすすめられます。この 5 km～31 km 圏内の地域のことを『UPZ（緊急防護措置を準備する区域）』と呼びます。

焼津市は多くがこの区域に含まれるため、市内全域を計画避難などの対象区域としています。



② 避難などの判断基準

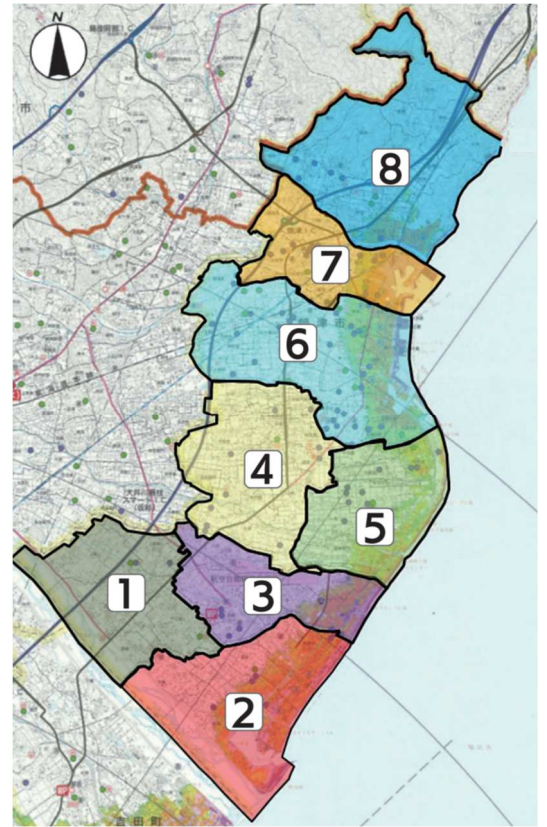


避難の方法と避難先

① 避難指示は市内を8区域に分けて

原子力発電所で災害などが発生したときには、市内を8区域の避難単位に分けて、区域ごとに避難などの指示がだされます。

自治会別の避難の単位	
1	相川、西島、上泉、下江留、上新田、つつじ平
2	中島、飯淵、利右衛門、吉永、高新田
3	宗高、上小杉、藤守、下小杉
4	大富第18、大富第19、大富第20
5	和田第21、和田第22、港第23
6	焼津第1、焼津第2、豊田第8、豊田第9、豊田第10、小川第11、小川第12、小川第13、港第14
7	焼津第3、焼津第4、焼津第5、焼津第6、焼津第7
8	東益津第15、東益津第16、東益津第17



② 避難の手段は自家用車が基本となります

市外に避難するときには、原則として、自家用車で避難してください。

自家用車で避難ができない人は、地域の学校などに市が設置する「一時集合場所」から、バスなどで避難していただきます。

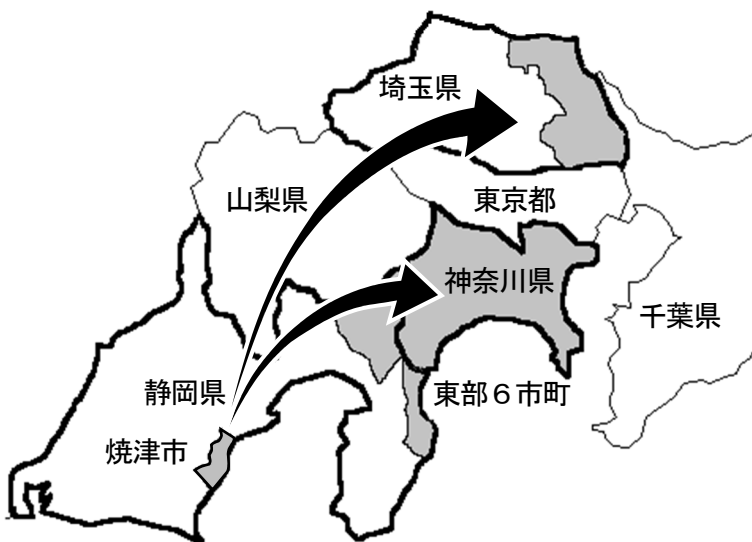
③ 避難先は自治会ごとに定められています

避難指示が出たときにはUPZ 圏外に避難することになります。

親戚や知人宅などに避難することもできますから、日頃から家庭内で相談することが重要です。

市の指定する避難先は、各自治会単位で市町を定めています。

また、発生した災害の状況によって避難先が変わります。



各自で定めた避難先 市が定めた避難先ではなく、各自が用意した場所	UPZ圏外の 親戚や知人宅をはじめ ホテルや旅館など
市が指定した 避難先 1 原子力災害が単独で発生したとき	静岡県内の東部6市町 (三島市、裾野市、御殿場市、 小山町、熱海市、伊東市) 神奈川県 (県内の全市町村)
市が指定した 避難先 2 大規模地震等との複合災害で、避難先1に避難ができないとき	埼玉県 (県内の指定された20市町)

原子力災害の発生から避難までの流れ

① 屋内への退避と情報収集

原子力発電所で事故が発生すると、まずは「屋内退避」の指示がでます。自宅などに入り、できる限り外気に触れないよう、ドアや窓を全部閉めてください。テレビやラジオ、防災行政無線などから情報を収集したり、避難先の確認をしてください。



② 市外への避難

原子力発電所から放射性物質が放出され、市内で一定以上の放射線量が測定されたときには、避難指示がでます。速やかに避難行動をはじめてください。

▶ 1 自家用車で「避難退域時検査場所」を目指してください

自家用車で避難を始めます。自家用車で避難ができない人は、「一時集合場所」で市が用意するバスなどに乗車します。避難する全ての人は、最初の目的地として「避難退域時検査場所」を目指してください。



➢ 避難退域時検査場所の役割

避難する人が放射性物質に汚染されていないことを確認して「検査済証」を発行します。万が一、避難途中で放射性物質が付いたときには除染をします。

予定されている検査場所
主要道のパーキングエリアなど
・東名の「日本坂」、「日本平」
・新東名の「藤枝」、「静岡」
・国道1号の「うぐいすパーキングエリア（藤枝市）」
・静岡県工業技術研究所（静岡市） （候補場所から県が開設します）

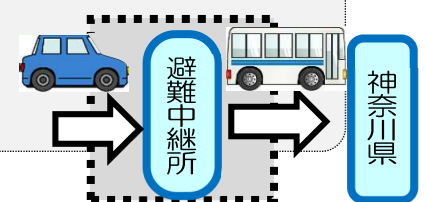
▶ 2 避難場所となる施設を案内する「避難経路所」に向かいます

「検査済証」を受け取ったら、避難先の市町に向かいます。避難先の市町では、避難場所となる施設を案内する「避難経路所」が開設されますので、ここを次の目的地としてください。

➢ 神奈川県内に避難するときには途中でバスに乗り換える

避難先が神奈川県内に指定されている人は、静岡県東部に設置される「避難中継所」に向かいます。ここで、自家用車からバスに乗り換えて「避難経路所」に向かいます。

バスに乗り換え



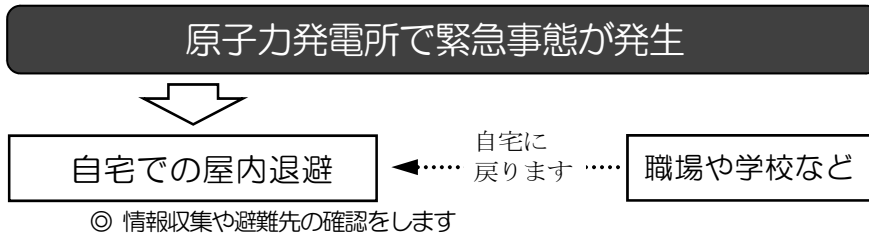
③ 避難するときに注意すること

原子力災害における避難についても、地震などでの避難と同様の準備が必要です。電気のブレーカーを落としたり、ガスの元栓を閉める。となり近所に声をかけて避難する。非常持出し品として飲料水や食料、着替えなどを用意して避難先に向かってください。

原子力災害の発生から避難までの流れ

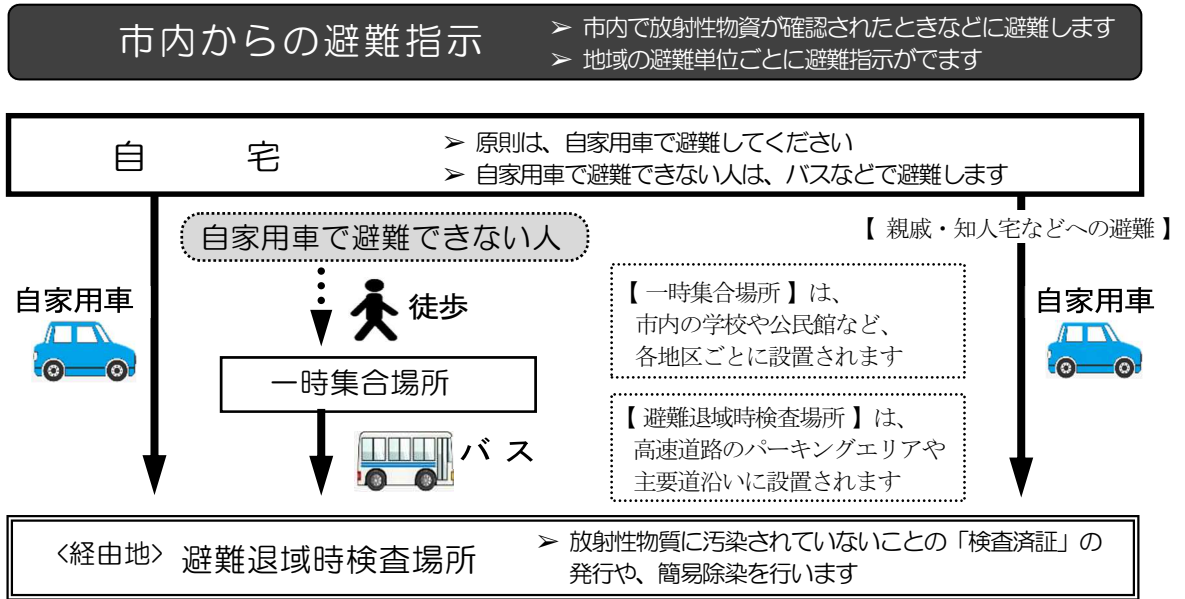
ステップ 1

避難の準備



ステップ 2

市外への避難の開始



ステップ 3

避難先となる施設への移動

